

令和6年度 宮城県の歯科口腔保健事業の 取組状況について (健康推進課)



令和6年度事業計画の概要

※括弧内の金額はR6予算

歯科口腔保健推進の方向性

1 乳幼児期及び少年期の歯科口腔保健対策の重点化

2 歯周病予防対策の強化

3 要介護者、障害児・者への歯科口腔保健対策の充実

4 連携体制の整備を推進するための施策の展開

拡充

① 妊娠期における歯科保健対策事業(860千円)〔委託〕

妊産婦及び乳幼児の歯科口腔保健の推進を図るための普及啓発を行う
歯科医師会と連携し、妊産婦向けの啓発リーフレットを改定、市町村や産科医院を通じて配布し、胎児期からの切れ目のない歯科口腔保健の取り組みを推進

② 宮城県歯科保健大会(593千円)

宮城県、宮城県教育委員会、宮城県歯科医師会の共催で各種表彰や講演を実施
・各種コンクール最優秀賞・特別賞受賞者の表彰式及び特別講演の実施を通じて広く県民への啓発を図る
・宮城県歯・口の健康に関する標語・図画・ポスターコンクール受賞作品展(11月 県庁1階ロビー)
・宮城県歯・口の健康に関する標語・図画・ポスターカレンダーを作成

拡充

③ フッ化物洗口普及事業(1,741千円)

施設への新規導入について、市町村を支援しフッ化物洗口の普及を推進。むし歯のある子どもとその保護者に対して、重点的な保健指導や予防措置の取組が推進されるように市町村を支援、連携体制を強化。

- ・市町村及び施設への説明会対応
- ・導入施設での保護者説明会講師等対応
- ・導入時の技術的助言・支援
- ・学校でのフッ化物洗口実施をサポートする人材確保と研修会の開催を通じて育成を通じて学校での導入を支援

などの取組を通じてフッ化物洗口の導入を支援、健康格差の解消を図る。

④ 働き盛り世代、職域に対する歯と口腔の健康づくり普及啓発事業(1,135千円)

働き盛り世代の歯周疾患への予防啓発
R4、R5に引き続き、運輸・運送業を対象に啓発事業を実施するとともに、事業所における優良事例を情報収集、県ホームページでの紹介などを通じて横展開を図る。

⑤ 口腔機能維持向上事業(180千円)

働き盛り世代に対して、オーラルフレイル等の口腔機能維持のための知識に関する普及啓発の取組を実施
オーラルフレイルや口の体操等に関する啓発資料を作成、スマートみやぎ健民会議などを通じて活用し、働き盛り世代のオーラルフレイル対策を促進、また、「ゆっくりよくかんで食べる」ことの啓発により肥満防止にもつなげる。

⑦ 市町村への補助事業(健康増進事業等補助金)

市町村が行う歯周疾患検診に係る費用の補助

受動喫煙防止対策推進事業

受動喫煙防止対策事業にからめた啓発
※歯科保健とは別予算にて事業実施。

⑧ 特定健診歯科口腔保健指導導入事業〔委託〕(10,504千円)

特定健診時に歯科保健指導を導入、歯科の側面から生活習慣病の発症や重症化予防を図る
歯科医師会、モデル市町村と連携し、特定健診時の歯科保健指導を実施、歯科受診や適切な口腔衛生習慣の定着等を促す。

拡充

⑪ 障害児親子歯みがき教室〔委託〕(620千円)

障害児の保護者、施設職員等に対する歯みがき指導をとおして、障害児への

従来の歯みがき教室に加え、歯科衛生士会と連携し、障害児・者の歯科保健や公衆衛生活動に興味のある歯科衛生士の人材育成に関する研修会を開催、取り組みの裾野を広げる。

⑫在宅歯科医療連携室整備事業〔委託・補助〕

1 在宅歯科医療連携室整備事業(7,200千円)
全県的な在宅歯科医療の相談窓口を設置等

みやぎ訪問歯科相談室の設置や利用の促進に向けた周知・広報、研修会開催等を通じて県内の相談対応機能を強化。

2 障害児・者歯科保健・医療体制整備事業(1,370千円)

障害児・者の口腔ケアや歯科治療を行う診療等に対し、人材育成の支援を行うことにより、県内における障害児・者歯科保健・医療体制の拡充を推進

栗原・大崎地域での医療体制整備に向けた人材育成等への補助を通じて新たな受入拠点を整備。

3 在宅及び障害児・者歯科医療連携室整備推進事業(2,534千円)

在宅及び障害児・者に対する歯科医療提供体制を整備するため、人員の配置及び研修会の実施に補助

みやぎ訪問歯科・救急ステーションへの人員配置、歯科医療連携共同協議会開催への補助を通じて歯科医療提供体制を強化。

⑬ 要介護者及び障害児・者の口腔ケア支援者研修事業(1,001千円)〔委託〕

ヘルパーや施設職員等を対象とした要介護者及び障害児者の口腔ケアの必要性和その方法についての研修を実施

要介護者及び障害児・者の口腔ケアの理解と知識の普及に向けた研修会を開催(地域ごとの開催を検討)。
適切な技術の習得と知識の普及を図る。

⑭ 歯科保健推進協議会(260千円)

本県の歯科口腔保健事業の実施方針の協議、本県の歯科口腔保健に係る重要事項を決定(会議開催1回程度)

⑮ 口腔保健支援センター運営事業(6,729千円)

歯科医療等業務の従事者、市町村担当者等を対象にした啓発、情報収集、人材育成を目的とした研修会を実施し、各種歯科口腔保健施策を推進

第3期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画に基づき、各種施策を展開。地域間格差の解消や健康格差の解消に向け、地域課題に応じた効果的な施策が展開されるよう、市町村や地域の歯科専門職と連携した取組を推進。

組織・拡充

⑯ 食育を通じた歯と口腔の健康づくり事業(389千円)

食育を通じた歯と口腔の健康づくりについて、関係団体と連携した啓発事業を実施

望ましい食べ方(ゆっくりよくかんで食べるなど)の啓発に関する体験型のイベント開催など、食育を通じた歯と口腔の健康づくりの取組を推進。

⑰ 8020運動及び歯科口腔保健の推進に関する検討評価委員会(230千円)

8020運動推進特別事業等の実施手法に関する検討・評価(会議開催1回程度)

拡充

⑱ 市町村歯科保健担当者研修会(373千円)

市町村母子保健・歯科保健担当者による県内の課題共有と市町村間の情報交換

市町村研修会(大規模災害)
グループワーク形式で研修会を実施、大規模災害時の避難所等への歯科医療救護に関する対応について関係団体や関係各課との連携体制強化、今後の具体的な指針作成の検討に繋げる。

⑨ 幼児歯科保健関係者研修会(30千円)

幼稚園教諭、保育士、市町村母子保健担当者等への研修会を行い歯科口腔保健を推進
研修動画の作成・配布を通じて保育現場等での歯科保健の取組の充実を図る。

拡充

⑩ 少年期の歯と口腔の健康づくり支援者研修会(805千円)〔委託〕

小中学校保健主事、養護教諭等への研修会を行い、学童期における歯科口腔保健を推進
歯科医師会と連携し、養護教諭や学校歯科医向け教育教材の改定(フッ化物応用、感染症対策と両立した歯科保健、口腔機能に関する記述の追加等)、教材を使った研修を実施、学校での指導を支援。

⑲ 歯科疾患実態調査〔厚生労働省全国調査〕(956千円) ※R6のみ実施

県民に対する啓発普及

歯科医療従事者等に
対する研修

妊娠期における歯科保健対策事業

■ 事業目的

妊産婦等を対象とした歯科口腔保健に関する啓発冊子を作成し、産科医院、助産院、市町村の関係機関を通じ配布するもの。

※「妊娠期からはじめるお口の健康」パンフレット13,000部作成し、R7.3月配布済み

■ 委託先 一般社団法人 宮城県歯科医師会

■ 事業実績

検討委員会の開催

3回（R6.8.27、R6.10.9、R6.12.4）

検討委員会メンバー

歯科医師5、歯科衛生士3



宮城県歯科保健大会

■ 事業目的

家庭の中で歯の健康管理を通じた健やかな生活づくりを推進し、「全身の健康は、歯の健康管理から」という予防意識を広く県民に啓発することを目的とする。

■ 実施主体 一般社団法人 宮城県歯科医師会・宮城県・宮城県教育委員会

■ 事業実績

- ・ 11月10日 各種コンクール最優秀賞等受賞者 表彰式
特別講演：「食べる・話す・呼吸する～口腔機能の育て方～」
全国小児歯科開業医会会長 土岐 志麻 氏
57名出席
- ・ 宮城県歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール受賞作品展
県庁1階ロビー 11/1～15
- ・ 宮城県歯・口の健康に関する標語・図画・ポスターカレンダーを作成

フッ化物洗口普及事業

- 事業目的 市町村への技術的支援、幼児保育施設及び学校関係者等への研修によりフッ化物洗口の円滑な導入を図る。
- 事業内容
 - ・ フッ化物洗口マニュアル、啓発媒体、研修資料等の作成及び提供
 - ・ サポート支援者研修会
 - ・ その他のフッ化物洗口の円滑な導入手順の確立に必要な支援
- 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター
- 事業実績
 - 1 角田支援学校白石校を対象に、サポート支援者研修会を実施
 - ・ 教員向け研修（1回）
 - ・ 保護者向け説明会（1回）
 - ・ 導入時の技術的支援（随時）
 - 2 フッ化物洗口マニュアル増刷及び配布



働き盛り世代、職域に対する歯と口腔の健康づくり普及啓発事業

■ 事業目的

働き盛り世代の歯周疾患への予防啓発を図るため、事業所における従業員への歯科保健の取組を推進する。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

タクシー会社（県内5か所の事業所、従業員数：計約300名）と連携し事業を実施
動画による普及啓発（歯周疾患の予防、歯磨き方法等）、口腔ケア物品を配布
事業実施前後にアンケートを実施し、知識取得や意識の変化について確認する。

口腔機能維持向上事業

■ 事業目的

働き盛り世代を対象に、口腔機能の維持及び口腔機能が低下した場合にはその回復及び向上を図るため、オーラルフレイル等の口腔機能に関する知識の普及啓発を行う。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

オーラルフレイルに関するチラシを25,000枚を作成しスマートみやぎ健民会議等を通じて配布



少年期・青年期の歯周病予防啓発事業

■ 事業目的

高校生に対し、学校主体のイベント等で歯間清掃用具等の体験等を通じた普及啓発を実施することにより、歯周病予防を主とした歯科口腔保健の普及啓発と意識向上を図る。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

・ 2校で実施

	東松島高校	南郷高校
実施方法	保健体育の授業として実施 1コマ40分とし、計3コマ実施 (2日間にわけて実施)	卒業前歯科健診として実施
参加者数	18名(10名、4名、4名)	7名
内容	染め出し・口腔内チェック 歯みがき・フロス体験 歯科衛生士による講話	染め出し・口腔内チェック 歯科健診 学校歯科校医による講話 歯科衛生士による講話
対応者	歯科衛生士 (宮城県口腔保健支援センター)	学校歯科校医、歯科衛生士(宮城県口腔保健支援センター)

・ 全校生徒を対象に、歯ブラシ・デンタルフロス・啓発チラシを配布した。

特定健診歯科口腔保健指導導入事業

■ 事業目的

県民の歯科口腔保健指導を受ける機会を確保することにより、適切な歯科健康管理を促し、生活習慣病の発症や重症化予防につなげるため、市町村と連携して、特定健診の集団健診の場を活用した歯科保健指導を導入する。

■ モデル市町村

大崎市、名取市、山元町

■ 事業実績

・特定健診の場での歯科保健指導（歯科医師による口腔内チェック・歯科衛生士による指導等）

市町村名	実施日数等	実績人数
大崎市	6日（6月25日～29日、7月1日）	133名
名取市	2日（7月23日～25日）	71名
山元町	2日（9月11日～12日）	59名
		計263名

・市町村研修会

特定健診の場における歯科口腔保健指導の実施について市町村間での横展開を図り、県民の歯科保健指導を受ける機会の確保に取り組む市町村を増やすため、市町村等を対象に研修会をR7.3月13日に実施

■ 事業目的

幼稚園・保育園・認定こども園職員、市町村母子保健・歯科保健担当者等の口腔ケアに関する知識と技術の向上を図るため研修会を開催する。

■ 実施主体 宮城県・宮城県口腔保健支援センター

■ 事業実績

「幼児期の歯科口腔保健」をテーマに研修動画を作成（宮城県口腔保健支援センター作成）視聴者がニーズに応じて聴講できるよう、「宮城県における幼児のむし歯の現状と課題」「歯・口の機能と発達」「むし歯の原因」「むし歯の予防」「歯みがきの実践」の5項目に分けて研修動画を作成し、受講しやすい環境を整備した。

少年期の歯と口腔の健康づくり支援者研修会

■ 事業目的

養護教諭や学校歯科医向けの教育教材を改訂するとともに、教材を用いた研修会を開催し、少年期における歯科口腔保健を推進する。

■ 委託先 一般社団法人 宮城県歯科医師会

■ 事業実績

教育教材の改訂	研修会
作成委員会 開催：3回（R6.10.31、R6.11.20、R6.12.5、R7.1.8） 委員会メンバー：歯科医師3、養護教諭1、元学校教頭1	R7.3.5開催「学校歯科保健教育教材の使用等方法について」（宮城県歯科医師会常務理事阿部清一郎氏） 申込68名、同時視聴23名、動画再生57回

障害児親子歯みがき教室 ・ 障害児親子歯みがき教室支援者研修会

■ 事業目的

障害児・者については、障害児・者自身と保護者による適切なセルフケアの徹底が必要であることから、歯科口腔保健に関する講話及び歯科保健指導を実施し、保護者及び施設職員の意識啓発と技術習得を図る。また、障害児・者自身と保護者に対する口腔ケア等の指導を行うことができる人材を確保するため、歯科衛生士を対象に、知識と技術の普及・向上を図る研修会を開催する。

■ 委託先

一般社団法人 宮城県歯科衛生士会

■ 事業実績

(障害児親子歯みがき教室)

県内2か所の児童発達支援施設で親子歯みがき教室を実施

・ 令和6年10月17日 登米市「パレットルーム・スマイル登米」

参加者：児童3名、保護者3名、施設職員3名

・ 令和7年1月11日 名取市「チルハピ増田教室」

参加者：児童1名、小学生1 保護者2名、施設職員2名

(障害児親子歯みがき教室支援者研修会)

8020運動推進特別事業

・ 令和6年12月15日 ハイブリッド開催（会場・Web）

「障害児親子歯みがき教室10年に向けて」

宮城県歯科衛生士会 理事 三浦 育子氏

「指導でなく支援でありたい～障害児とご家族の声を聴きながら～」

千木良デンタルクリニック 副院長 千木良 あき子氏

参加者：34名

在宅歯科医療連携室整備事業

■ 事業目的

口腔内に問題を抱えている在宅の要介護者・障害者及びその家族等のニーズに応え、歯科及び介護等分野との連携を図るための相談窓口を設置することにより、地域における在宅歯科医療の推進及び介護等分野との連携体制の構築を図る。

■ 委託先 一般社団法人 宮城県歯科医師会

■ 事業概要

宮城県歯科医師会内に「みやぎ訪問歯科相談室」を設置し、下記の業務を実施

- 1 口腔ケアに関する相談対応
- 2 在宅歯科医療機関の紹介・情報提供
- 3 在宅歯科医療機関への機器の貸出
- 4 在宅歯科医療の推進等に関する普及啓発

■ 事業実績

- 1 口腔ケアに関する相談対応
相談件数：184件
在宅歯科医療実施医療機関数：229件
障がい児・者歯科診療相談窓口設置医療機関：81件
- 2 在宅歯科医療機関の紹介・情報提供：141件
- 3 在宅歯科医療機関への機器の貸出：0件
- 4 在宅歯科医療の推進等に関する普及啓発

日時	演題	講師	開催方法	参加者数 (申込者数)
R7.2.22	「みやぎ訪問歯科相談室」へようこそ ～みやぎ訪問歯科相談室研修会～ 障がい児・者歯科の魅力	宮城県歯科医師会 在宅歯科部会部員 前川 理人氏 宮城県歯科医師会 在宅歯科部会部員 山崎 猛男氏	実開催 (登米市立登米市民病院)	18名

障害児・者歯科保健・医療体制整備事業

■ 事業目的

障害児・者の口腔ケアや歯科治療を行う診療所に対し、人材育成等の支援を行うことにより、県内における障害児・者歯科保健医療体制の拡充を図る。

■ 補助対象 一般社団法人 宮城県歯科医師会（補助率2/3）

■ 事業概要

- 1 障害児・者に対する歯科保健・医療の提供体制整備に向けた人材育成
- 2 障害児・者に対する歯科保健医療の提供体制整備に向けた施設整備

■ 事業実績

- 1 障害児・者に対する歯科保健・医療の提供体制整備に向けた人材育成

【運営会議等】

開催回数：2回（R6.8.7、R7.3.6）

検討事項：令和6年度大崎障がい児者歯科医療対応能力向上セミナーについて
セミナーの総括及び障がい児・者診察室（仮称）の開設に向けて

【人材育成研修会】

R6.10.4	R6.11.29	R7.1.24
受講者数：31名	受講者数：45名（Web 13名、会場32名）	受講者数：47名

- 2 障害児・者に対する歯科保健医療の提供体制整備に向けた施設整備
整備内容：ストレッチャー車椅子1台、診察台1台、電子血圧計1台、
パルスオキシメーター1台、聴診器1台

在宅及び障害児・者歯科医療連携室整備推進事業

■ 事業目的

各医療圏に在宅及び障害児・者に対する歯科医療提供体制を整備するため、県歯科医師会が実施する専門職の配置及び研修会の開催を支援する。

■ 補助対象 一般社団法人 宮城県歯科医師会（補助率2/3）

■ 事業概要

在宅の要介護者等に対する歯科保健・医療の相談・診療窓口機能を整備するため下記を実施

- 1 既存窓口への専門職配置
- 2 運営委員会の開催

■ 事業実績

- 1 既存窓口への専門職配置
 - ・みやぎ訪問救急ステーション対応件数
 - 訪問回数：931回 訪問回数中の専門的口腔ケア：359回
- 2 運営委員会
 - ・1回開催（令和7年1月31日）
- 3 歯科医療連携室合同協議会
 - ・1回開催（令和7年2月27日）

■ 事業目的

要介護者及び障害児・者の歯と口腔のケアを担う歯科医師、歯科衛生士及び介護等に
従事する職員等の口腔ケアに関する知識と技術の向上を図るため、研修会を開催する。

■ 委託先 一般社団法人 宮城県歯科医師会

■ 事業実績

介護職員や社会福祉施設関係者等多職種を対象とし、要介護者、障害児・者等の口腔ケア
に関する知識、技術向上を目的としたWEB研修（オンデマンド配信も実施）を開催

・ 要介護者の口腔ケア支援者研修会

日時	演題	講師	開催方法	参加者数（申込者数）
R7.1.20	施設の口腔衛生管理についてのその後、及び口腔連携強化加算について	宮城県歯科医師会 常務理事 相澤 俊彦氏	WEB開催	申込108名 視聴145名 動画再生233名
R7.2.1	口腔健康管理の理論と実践 介護施設での口腔ケアの取り組みについて	東北福祉大学 教授 渡部 芳彦氏 介護老人保健施設せんだんの丘 歯科衛生士 市川 有美氏	実開催 (宮城県歯科医師会館)	出席45名

・ 障害児・者の口腔ケア支援者研修会

日時	演題	講師	開催方法	参加者数（申込者数）
R7.2.19	最近の施設基準に基づいた感染対策 障がい児・者歯科の魅力	宮城県歯科医師会 業務執行理事 入野田 昌史氏 宮城県歯科医師会 在宅歯科部会副会長 河瀬 聡一朗氏	実開催 (大河原コミュニティ センターまちづくり オーガ)	出席45名

口腔保健支援センター設置・運営事業

■ 事業目的

本県の歯科保健事業の充実・強化を図り、関係機関・団体との連携を強化するため、歯科口腔保健の推進に関する法律に基づき、「口腔保健支援センター」を設置・運営

■ 組織体制

センター長：健康推進課長、副センター長：健康推進課総括課長補佐
歯科医師（1名）、歯科衛生士（1名）

■ 業務内容

歯科口腔保健に関する啓発、歯科口腔保健に関する情報の収集及び提供、歯科口腔保健の推進に携わる人材の育成を目的とした研修等の実施など



食育を通じた歯と口腔の健康づくり事業

■ 事業目的

忙しく家族とゆっくり食事をする時間がとれないことがある働き盛り世代や、家族での食事の時間を大切にしていきたい子育て世代を主な対象に、食育や歯の健康づくりに関して考える機会を提供、歯と口腔の健康や食育、肥満防止につながる食事の仕方などについて普及啓発を行う。

■ 実施主体

宮城県、宮城県歯科医師会 協力：宮城県歯科衛生士会、宮城県栄養士会

■ 事業実績

（事業概要）

食習慣や口の健康づくりに関するチェックリスト実施者に、抽選で健康づくりを応援するプレゼントの送付や体験型イベントへの招待を実施。家族ぐるみで学び、考える機会を提供

応募者数 166名

（健康づくり応援プレゼント）

・プレゼント当選者数 58名

・プレゼント協力企業

イオン東北株式会社、サンスター株式会社、第一生命保険株式会社、
公益財団法人宮城県スポーツ協会、公益財団法人宮城県対がん協会、みやぎ生活協同組合、
理研ビタミン株式会社

（体験型イベントの内容）

・11月23日 仙台市内で開催（14組34名参加）

春風亭与いち氏のお話、おにぎりづくり体験（仙台白百合女子大学 教授 佐々木 裕子氏）
歯科医師、歯科衛生士、栄養士のお話、展示や体験コーナー学習等

■ 事業目的

「第3期宮城県歯と口腔の健康づくり計画」に基づき（※）、災害時の歯科保健医療体制について学び、関係機関との連携体制整備の一助とするため研修会を開催する。

（※）大規模災害時の歯科口腔保健に関する事項

災害時における歯科口腔保健の重要性について、研修等の機会を通じて平時から啓発に努める。

■ 実施主体 宮城県口腔保健支援センター・宮城県

■ 事業実績

日時	内容	講師・説明者	開催方法	参加者数
R6.10.23	説明「宮城県の災害時保健医療体制について」	宮城県保健福祉部参与 宮城県保健福祉部健康推進課職員	Web併用 (宮城県大崎 合同庁舎)	26名
R6.10.25	講義「災害時の歯科保健医療体制について」	東北大学大学院歯学研究科 特任講師 中久木 康一氏	web	9名
	意見交換「各市町村の災害時 歯科保健医療体制について」	出席市町村		
	まとめ	東北大学大学院歯学研究科 特任講師 中久木 康一氏		

歯科疾患実態調査〔厚生労働省全国調査〕

■ 概要

わが国の歯科保健状況を把握し、「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項（第二次）」や「健康日本21（第三次）」等の各基本計画におけるベースラインの提示など、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得ることを目的に実施される全国調査について、国の指定する県内5地区で実施

■ 調査時期 令和6年10月～11月

■ 調査内容 歯や口、歯肉の状態、口腔内清掃状況、歯科健診受診状況